

電話作戦マニュアル 例

もしも、●●さまのお宅でしょうか。

お忙しいところ(時間帯に)大変失礼いたします。(※昼食、夕食ときは丁寧に…)

衆院選で〇〇党から立候補しております「〇〇〇〇」事務所です。

10月22日に行われる衆議院議員総選挙の件でお電話差し上げました。

社会福祉の専門家、〇〇歳の新人の「〇〇〇〇」です。現在、大変厳しい戦いをしています、当落線上で必死に争っています。ぜひともお力を貸していただきたいです。「〇〇〇〇」です。よろしく願いいたします。(涙ながらに訴える感じ!)

《話をゆっくり聞いていただけそうであれば》

- ・ 「〇〇〇〇」はご存知でしょうか?以下、サンプル
小学生の頃から、福祉関係のボランティアに携わっていました。衆議院議員秘書を経て、今年〇月〇日に〇〇党から公認候補となり、現在全力疾走しております。現状、「〇〇〇〇」、大変厳しい戦いをしています、当落線上で必死に争っています。

●●さまのお力添えを頂けないでしょうか。

どうか「〇〇〇〇」に1票、ご検討のほど宜しくお願い致します。

ぜひ、ご家族やお知り合いにもお伝え頂ければと思います。

お忙しいところ、ご丁寧にありがとうございました。

「〇〇〇〇」です。失礼いたします。

<注意事項>

- ・ 留守番電話を残してください。
→突然のお電話失礼いたします。私、〇〇党「〇〇〇〇」事務所です。このたびの10月22日の衆議院議員総選挙にて、〇〇党から「〇〇〇〇」が出馬しております。社会福祉の専門家、〇〇歳の新人です。当落線上で必死に争っています。ぜひとも、お力を貸していただきたくお電話差し上げました。お忙しいところすみません。よろしく願いいたします。失礼いたします。
- ・ 折り返しの電話は出られなくても結構です。
- ・ 「どこでこの番号を知ったのか」→電話帳を見て電話をしています。